

オーソン・ウェルズ

Orson Welles

生年月日 1915/05/06

出身地 アメリカ／ウィスコンシン州

没年 1985/10/10

パオラ・モリ（元妻）

関連人物 マーク・マケロー（孫）

リタ・ヘイワース（元妻）

【バイオグラフィ】

■本名はGeorge Orson Wells。父は発明家、母はピアニストだった。6歳の時両親が離婚。母に引取られるが、2年後に母が亡くなり父の元で優雅な生活を経験。高校時代から学生劇に参加して俳優兼演出家として早くから才能の片鱗を見せていたという。高校卒業後、絵画の勉強と称してアイルランドのダブリンへ渡り、年を偽って劇場のオーディションに参加。合格後に舞台デビューを果たす。やがてダブリンの有名劇場にも立ち、34年、モロッコ、スペインを経て帰国。NYでNBCなどのラジオに出演や舞台演出、37年にはマーキュリー劇団を組織するなどした。そして翌年の10月30日、H・G・ウェルズ原作の『宇宙戦争』をラジオ・ドラマ化してCBSからニュース形式で放送。しかしそのあまりにもリアルな演出のため、全米がパニックに陥るといふ現象を巻き起こした（この有名な出来事は後に「アメリカを震撼させた夜」としてTVM化された）。その事に注目したRKOが彼をハリウッドに呼び41年「市民ケーン」を制作。アカデミーに9部門ノミネートされ脚本賞に輝いた。当時弱冠25歳にして巧みな構成と斬新なカメラ・ワークで世界中の映画ファンを愕然とさせた。しかし以降は「市民ケーン」ほどの衝撃的な作品はなく、本人も“頂上からスタートして滑り降りた”と認めるなど作品の出来はあまり良くなかった。が、俳優としては独特の顔立ちと大柄な体型を活かした性格俳優として活躍。70年にはその功績を称えてアカデミーから名誉賞を送られた。結婚は3回で2番目の妻はあのリタ・ヘイワース（43～47）。パオラ・モリとは56年に結婚したがその後離婚に至っている。85年、心臓発作のためこの世を去った。「トランスフォーマー ザ・ムービー」が遺作というのは寂しいところでもある。

【フィルモグラフィ】

風の向こうへ (2018)	監督, 脚本, 編集
オーソン・ウェルズが遺したもの (2018)	出演
ディス・イズ・オーソン・ウェルズ (2015)	出演
映像の魔術師 オーソン・ウェルズ (2014)	出演
映画の巨人 ジョン・フォード (2006)	ナレーション
第一の嘘 (1999)	オリジナル脚本
オーソン・ウェルズ／イツ・オール・トゥルー (1993)	監督
こちらブルームーン探偵社 (1985～1989)	ゲスト出演
トランスフォーマー ザ・ムービー (1985)	声の出演
トニー・カーチスの発明狂時代 (1984)	出演
ノストラダムス／大王降臨 (1981)	出演
ジェノサイド ナチスの虐殺 ホロコーストの真実 (1981)	ナレーション
将軍 SHOGUN (1980)	ナレーション
将軍 SHOGUN (1980)	ナレーション
マペットの夢みるハリウッド (1979)	出演

グレーテスト・アドベンチャー 未知なる月への挑戦 (1979)	ナレーター
クリスマスの出来事 (1977)	出演
さすらいの航海 (1976)	出演 : ホセ・エステデス
オーソン・ウェルズの フェイク (1975)	監督, 脚本, 出演
そして誰もいなくなった (1974)	声の出演
風雪の太陽 (1973)	出演
オーソン・ウェルズ劇場 (1973)	出演
ウィッチング (1972)	出演
汝のウサギを知れ (1972)	出演
宝島 (1971)	出演
004 / アタック作戦 (1970)	出演 : ナレーション
キャッチ22 (1970)	出演 : ドリードル将軍
ワートルロー (1969)	出演
クレムリンレター / 密書 (1969)	出演 : プレスナヴィッチ
サファリ大追跡 (1969)	出演 : プランケット
ネレトバの戦い (1969)	出演 : 評議員
非情の切り札 (1968)	出演 : レシュノー
復讐無頼・狼たちの荒野 (1968)	出演
不滅の物語 (1968)	監督, 脚本, 出演
明日に賭ける (1967)	出演 : ジョナサン・リュート
007 / カジノ・ロワイヤル (1967)	出演 : シフレ
ジブラルタルの追想 (1967)	出演
ロシア革命の真実 / 世界を震撼させた10日間 (1967)	声の出演
オーソン・ウェルズのフォルスタッフ (1966)	監督, 脚本, 出演
わが命つきるとも (1966)	出演
パリは燃えているか (1966)	出演
マルコ・ポーロ大冒険 (1964)	出演
ロゴパグ (1963)	出演
予期せぬ出来事 (1963)	出演
審判 (1962)	監督, 脚本, 出演
キング・オブ・キングス (1961)	声の出演 : ナレーター
黒い砦 (1961)	出演 : ブルンダル
鏡の中の犯罪 (1960)	出演
ダビデとゴライアス (1959)	出演
香港定期船 (1959)	出演 : ハート船長
強迫 / ロープ殺人事件 (1959)	出演 : ジョナサン・ウィルク
ナポレオン / アウステルリッツの戦い (1959)	出演
長く熱い夜 (1958)	出演 : ウィル・ヴァーナー
自由の大地 (1958)	出演 : サイ・セジウィック
黒い罠 (1958)	監督, 脚本, 出演 : ハンク・クインラン 警部
悪魔に支払え! (1957)	出演
白鯨 (1956)	出演 : マップル神父

秘められた過去 (1955)	監督, 製作, 脚本, 衣裳, 出演
ナポレオン (1954)	出演
谷間の争い (1954)	出演
人間と野獣と美徳 (1953)	出演
トレント最後の事件 (1952)	出演
オーソン・ウェルズの オセロ (1951)	監督, 製作, 脚本, 出演
黒ばら (1950)	出演
第三の男 (1949)	出演 : ハリー・ライム
狐の王子 (1949)	出演
黒魔術 (1949)	監督, 出演
マクベス (1948)	監督, 製作, 脚本, 出演
上海から来た女 (1947)	監督, 製作, 脚本, 出演
チャップリンの殺人狂時代 (1947)	原案
離愁 (1946)	出演
オーソン・ウェルズ I N ストレンジャー (1946)	監督, 脚本, 出演
ジェーン・エア (1943)	出演 : エドワード・ロチェスター
恐怖への旅 (1942)	製作, 脚本, 出演
偉大なるアンバーソン家の人々 (1942)	監督, 製作, 脚本
市民ケーン (1941)	監督, 製作, 脚本, 出演 : チャールズ・フォスター・ケーン